

# 総合大雄会病院

病院長名	高田 基志
所在地	〒491-8551 愛知県一宮市桜一丁目9番9号
交通案内	■「名古屋」駅もしくは「岐阜」駅から JR「尾張一宮」まで約8分。 「尾張一宮」駅から病院まで徒歩約10分。 ■名神高速「一宮インター」から約5分



## □ 病院の特徴

総合大雄会病院は1924年に開設、長年地域の人々の健康を守るという重要な役割を担い続けてきました。現在では救急医療、先進医療、予防医療を柱とする急性期医療を担っており、平成22年に3次救命救急センター、平成23年には地域医療支援病院の指定も受けています。

設備に関しては320列CT、PET-CT、MRI、放射線治療機器などの最新医療機器も導入されており、ICU、HCU、手術室、アンギオ室なども充実しています。また、重症患者の受け入れのために屋上にはヘリポートも完備しています。さらに、一般外来専門の大雄会クリニックや透析センター・健診センターを持つ大雄会第一病院が近接しており、互いに連携して診療活動を行っています。

## □ 研修プログラムの特徴

### 【総合大雄会病院外科専門研修プログラム】

当院で外科専門医研修を行うことのメリット

- ① 3次救命救急センターで豊富な救急症例数を経験できる。
- ② 西尾張地区民間病院（社会医療法人）で医療経済的視点が養われる。
- ③ 定員1名に対して8名の外科専門医が在籍し、充実した研修が受けられる
- ④ 心臓血管外科基幹（関連）施設、呼吸器外科基幹（関連）施設、消化器外科学会専門医制度指定修練施設のサブスペシャリティ領域学会へのステップアップが可能。
- ⑤ 年間450例以上の手術件数に対して定員1名（受け入れ上限数は3名）で豊富な手術経験が得られる。
- ⑥ 愛知県と岐阜県の境界領域に位置する病院で同じ医療圏内に大学病院が存在しない民間病院として地域密着型の専攻医を受け入れ、大学病院との連携で育成したい。
- ⑦ 外科専門研修3年間で1年単位で当基幹施設と愛知医大連携施設で実施して4年次以降はサブスペシャリティ領域専門研修もしくは当院が連携となる愛知医大、岐阜大学での大学院コースが選択できる。



▲腹腔鏡手術

## □ 主な連携施設

関連施設：愛知医科大学病院

## □ メッセージ

外科指導医（副院長：日下部光彦）

当院は「思いやりのこころ」という理念の元、先進医療・救急医療・予防医療を提供するという基本方針で地域医療ネットワークの中核となるべく急性期医療を担う病院として高度専門医療と救急医療を行っています。



高度先進医療としての外科治療を身につけるのみならず、NSTチーム、感染制御チーム、緩和ケアチーム、化学療法センター、遺伝性疾患対策委員会による遺伝性乳がん・大腸がん対応等チーム医療を身につけて患者第一主義の外科医として修練されることを望んでおります。

## □ 募集要項

・採用予定人数	1人
・給与/月額	550,400円（当直2回含む）
・当直回数/月	2回以上
・当直料/回	1次：43,000円～、2次：55,000円～
・その他	福利厚生あり、院内保育室あり
・応募連絡先	担当者 臨床研修センター 電話番号 0586-71-1211（代） Eメール <a href="mailto:resident-c@daiyukai.or.jp">resident-c@daiyukai.or.jp</a>